

平成30年度の主な事業

平成30年度に実施した主な事業を、市総合計画の大綱別に紹介します。

大綱2
安心が確保されたまちづくりの推進
・吉浜小学校放課後児童クラブ新築事業



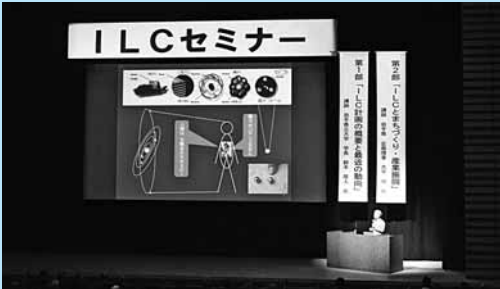
吉浜小学校区に、放課後児童クラブ「キッピン学童クラブ」専用施設を整備しました

大綱4
潤いに満ちた快適な都市環境の創造
・被災市街地復興土地区画整理事業



大船渡駅周辺地区の基盤整備工事が完了し、4月、夢海公園の供用を開始しました

大綱1
豊かな市民生活を実現する産業の振興
・国際リニアコライダー誘致促進事業



国際リニアコライダー（ILC）の誘致・実現に向けた取り組みを行いました

大綱3
豊かな心を育む人づくりの推進
・赤崎地区公民館整備事業



高台に建設された赤崎地区公民館は、4月1日から施設利用を開始しました

大綱5
やすらぎある安全なまちづくりの推進
・消防施設整備事業



被災した全ての消防屯所の復旧が完了しました

大綱6
自然豊かな環境の保全と創造
・公共下水道事業



下水道管きょ工事や舗装本復旧工事などを行いました

大綱7
自立した行政経営の確立
・協働推進事業



市民活動支援センターで、市民団体の活動支援などを行っています

用語説明

○ **一般会計**
行政運営の基本的な経費を中心とした会計

○ **特別会計**
特定の事業を行うための会計

○ **市債**
市が施設や道路などの建設を行うために調達し、計画的に返済するお金

○ **国庫支出金・県支出金**
補助金など特定の目的の財源として国や県から交付されるお金

○ **地方交付税**
所得税や法人税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況や特別の財政需要に応じて交付されるお金

○ **東日本大震災による復旧・復興事業の市負担分や市税の減収分などに対しても交付されます。**

○ **未処分利益剰余金**
経営活動により生じた利益で、特定の使途（使い道）が定まっていないもの

○ **減債積立金**
企業債（借入れ）の償還の財源に充てるための積立金

○ **建設改良積立金**
建設または改良工事などを行うための財源に充てるための積立金

平成30年度

水道事業会計決算

▽問い合わせ先Ⅱ水道事業所庶務係（☎内線202）

9月に開かれた市議会第3回定例会において、平成30年度の水道事業会計決算が認定されました。

経営収支の状況は、人口減少などにより給水収入が減少したものの、経費全般の節減に努め、当年度の純利益は前年度より3,199万円多い1億976万円となりました。その一方で、今後は減価償却費や借入金利息の増加などにより、厳しい経営が見込まれます。

当年度未処分利益剰余金は4億5,016万円となり、このうち、減債積立金と建設改良積立金にそれぞれ5,000万円を積み立て、資本金に3億1,268万円を組み入れることとし、残りの3,747万円は令和元年度へ繰り越しました。

【未処分利益剰余金・減債積立金・建設改良積立金】4ページ用語説明参照

事業の概況

水道の未給水地域における配水管の布設や第4浄水場の整備を進めて給水基盤の拡充を図るとともに、第1浄水場の過池改修工事や老朽管の布設替えなどを実施し、水道水の安定供給に努めました。

また、東日本大震災関連の災害復旧事業については、大船渡駅周辺地区の土地区画整理事業および道路・漁港などの整備事業に伴う配水管の布設工事を進め、被災地の住環境の整備促進に努めました。

収益的収支

水道事業を運営するための収益と費用

総収益は、給水収入や分岐負担金が減少したことなどから、前年度より227万円少ない6億8,731万円となりました。

総費用は、建設改良事業による配水管の布設替えなどに伴う資産減耗費が減少したこ

資本的収支

水道施設を整備するための財源と費用

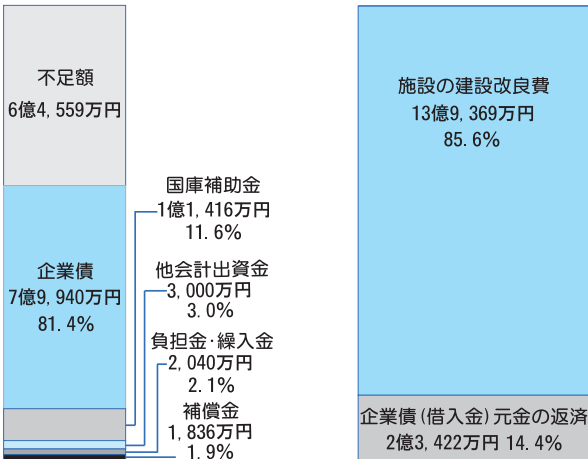
収入は、水道施設整備事業や配水管の布設替えなどの改良更新事業に充てるための企業債（借入金）や災害復旧事業に対する国庫補助金などで、前年度より4億1,808万円多い9億8,232万円となりました。

支出は、水道施設の新規整備事業や既存施設の改良更新事業、震災関連の災害復旧事業に伴う費用、企業債元金の返済などで、前年度より6億7,473万円多い16億2,791万円となりました。

資本的収支

【収入】 9億8,232万円（税込み）

【支出】 16億2,791万円（税込み）



収益的収支

【総収益】 6億8,731万円（税抜き）

【総費用】 5億7,755万円（税抜き）

